

日本エピジェネティクス研究会
令和2年度第1回幹事会 議事要旨

場所：ウェブ会議

日時：令和2年5月27日（水）18:00～19:30

報告事項

1. 令和元年度事業報告

- (1) 第13回年会在古関明彦年会長のもと令和元年5月28-29日に神奈川県民ホールおよび横浜産貿ホールで開催された。
- (2) 幹事会が1回（5月28日）、総会が1回（5月29日）開催された。
- (3) 第15回（令和3年）年会長に伊藤隆司氏（九州大学）が選出された。

2. 庶務委員会報告（資料1）

令和元年12月31日現在の会員数と会費納入状況

一般会員 424名（会費納入率73%）

学生会員 160名（会費納入率61%）

賛助会員 4社（会費納入率100%）

令和2年5月7日現在

一般会員 434名、学生会員 176名、賛助会員 4社

3. 広報委員会報告

ニューズレターを5報（53号～57号）発刊し、ホームページを32回更新したことが報告された。

4. 令和2（2020）年奨励賞の受賞者の選出について

奨励賞選考委員会および幹事会の審議の結果、2名の受賞が報告された。

5. 令和2（2020）年年会参加助成について

複数名の応募があったが、今回は再募集を行う旨について説明された。

6. 第14回（令和2年）年会について

近藤豊年会長より、新型コロナウイルス対応のため、開催日を令和3年（2021）3月30-31日に延期したこと、会場（ウィンク愛知）には変更がないことが報告された。

7. 第15回（令和4年）年会について

伊藤年会長より令和4年（2022）5月19-20日または5月26-27日の開催を計画していることが説明された。

8. 幹事再任・辞退について

幹事の任期満了に伴う再任・辞退に関する報告があった。

再任10名：牛島俊和、大川恭行、木村 宏、胡桃坂仁志、古関明彦、近藤 豊、
齊藤典子、佐々木裕之、仲野 徹、村上洋太

辞退1名：湯浅保仁

協議事項

1. 令和元年度決算について（資料2）

決算については、会計監事（山田泰広氏、立花誠氏）によって監査され、適正である旨報告された。審議の上、承認された。
2. 令和2年度の事業計画について
研究会の運営および広報活動に関して将来的に見直す可能性が提案された。
3. 令和2年度・令和3年度予算案について（資料3）

予算案について説明があり、承認された。
4. 第16回（令和5年）年会会長の選出について
次回の幹事会またはそれまでに選出する予定となった。
5. 令和2（2020）年および令和3（2021）年奨励賞の受賞者について
第14回年会が令和3年3月に延期されたが、令和3（2021）年奨励賞の募集について議論され、予定通りに選考することとなった。
6. 令和2（2020）年年会参加助成の取り扱いについて
第14回年会の延期に伴い、年会参加助成の募集を改めて行うことが提案され、承認された。
7. 庶務委員会委員長の交代について
令和2年5月から庶務委員長を副島英伸氏（佐賀大学）から畑田出穂氏（群馬大学）に交代することが承認された。これに伴い、事務局が群馬大学に移転する。
8. 名誉会員の選出について
名誉会員として湯浅保仁氏（東京医科歯科大学・名誉教授）が推薦され、承認された。
9. 新幹事の選出について
幹事会で8名の推薦があり、審議および投票の結果、金田篤志氏（千葉大学）、平谷伊智朗氏（理化学研究所）が新幹事候補に選出された。
10. あり方等検討委員会のまとめについて
日本エピジェネティクス研究会あり方委員会において検討された下記の課題に関する検討内容について報告がなされた。
 - 【会員】 研究会への入会促進および会員年会費について
 - 【年会】 年会の開催方法と企業協賛の促進について
 - 【企業】 賛助会員の特典・募集と年会費について審議の結果、今後も改善に向けて検討を重ねることとなった。
11. その他
次回の新幹事選出の際、女性研究者と若手研究者を促すことが確認された。
協賛企業に対する対応改善などの広報活動を進めることが承認された。